

												昭和20年		野砲兵第一三八連隊略歴 通称号 不動第三七二七一部隊	
												月	日		概
9	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7	要		
16	14	20	19	18	16	15	12	11	10	9	30	10	摘要		
<p>奉天において第四一作業大隊に編入</p> <p>奉天に移動、奉天鉄路学院に収容</p> <p>新屯に集結</p> <p>撫順において武装解除</p> <p>現地応召者召集解除</p> <p>主力および設営隊は撫順に向つて移動、撫順において設営隊は主力に合流</p> <p>同日において停戦</p> <p>師団命令により南雑木に下車待機</p> <p>主力は黄旗屯出発</p> <p>設営隊は黄旗屯出発、翌日奉天省營盤到着</p> <p>日「ソ」開戦</p> <p>編成完結。爾後吉林黄旗屯附近の警備</p> <p>軍令陸甲第一〇六号により編成下令</p> <p>吉林省黄旗屯において機動第三連隊から転入の基幹人員と在満応召者をもつて</p>															

0202

十一の外

		10 9
		16 18
	連隊長 少佐 住友兵一	奉天出發 黒河經由入「ソ」

												昭和		
												20	20	
												年月日		
10	9	9	9	8	8	8	8	8	8	8	7	7		
16	18	14	13	21	20	19	15	13	10	9	30	10		
<p>黒河經由入「ソ」</p> <p>奉天出発</p> <p>奉天着全員第四一作業大隊に編入</p> <p>奉天に移動のため新屯出発</p> <p>興京派遣隊撫順に復版、新屯に集結</p> <p>撫順において武装解除</p> <p>南雑木より撫順に移動同地において現地応召者召集解除</p> <p>停戦</p> <p>一部の者を興京（奉天省）に派遣</p> <p>奉天省撫順に移動途中南雑木に下車</p> <p>日「ソ」開戦</p> <p>爾後吉林付近の警備</p> <p>吉林省吉林において機動一旅団からの基幹人員と在満応召者をもつて編成完結。</p> <p>軍令陸甲第一〇六号により編成下令</p>												概要		
												摘要		

工兵第一三八連隊略歴

通称号 不動第三七二七二部隊

0204

		昭 20											年 月 日	
至	自	9	9	8	8	8	8	8	8	7	7			
17	10	10	6	21	19	15	18	9	5	30	10			
<p>奉天において第三一、第四一、作業大隊に編入</p> <p>奉天着</p> <p>新屯出發、徒歩にて奉天に向う。</p> <p>撫順において武装解除。撫順出發、同日新屯着。</p> <p>同地において現地応召者召集解除</p> <p>撫順到着、清源部隊は本隊に合流、同日停戦</p> <p>本隊は移動命令により黄旗屯出發</p> <p>日「ソ」開戦</p> <p>待っていたが八月十一日撫順に移動の命をうけ出發</p> <p>先發隊の清源設営隊黄旗屯を出發。清源青年訓練所に設営完了、本隊の到着を</p> <p>つて編成完結</p> <p>吉林省黄旗屯において機動一旅団司令部から転入の基幹人員と在満応召者をも</p> <p>軍令陸甲第一〇六号により編成下令</p>													概	要
													摘要	

第一三八師団通信隊略歴

通称号 不動第三七二七三部隊

十二の内

0206

		10 9 9	
		16 30 18	
	隊長 大尉 北川 博	第三一作業大隊黒河經由入「ソ」 第四一作業大隊黒河經由入「ソ」	奉天出発

十二の外

輜重兵第一三八連隊略歴

通称号 不動第三七二七四部隊

590											
昭											
20											
年月日											
10	9	9	9	8	8	8	8	8	8	7	7
16	18	17	14	27	19	15	13	9	2	30	10
<p>軍令陸甲第一〇六号により編成下令</p> <p>吉林省煙筒山において機動一旅団から転入の基幹人員と在満応召者をもつて編成完結</p> <p>師団命令により本部第三、第四、第五中隊の各一ケ小隊は設営のため南雑木に第一、第二中隊の各一ケ小隊は清源に派遣</p> <p>日「ソ」開戦に伴い清源設営隊は直に本部に復帰</p> <p>本部が撫順に移動の際南雑木設営隊は本隊に合流</p> <p>撫順において停戦</p> <p>現地応召者召集解除</p> <p>撫順において武装解除。撫順出発、同日新屯に集結</p> <p>新屯出発、同日奉天着</p> <p>奉天において第四一作業大隊に編入</p> <p>奉天出発</p> <p>黒河經由入「ソ」</p>											
概要											
要											
摘要											

0208

59022

隊長
少佐
国分
邦威

0209

											昭 20	年 月 日	第一三八師団兵器勤務隊略歴 通称号 不動第三七二七五部隊
10	9	9	9	8	8	8	8	8	8	7	7		
16	18	17	6	30	29	16	15	9	8	30	10		
隊長 中尉 江口喜陽 黒河経由入「ソ」 奉天出發 同地において第四一作業大隊に編入 新屯出發、同日奉天着 新屯に移動のため撫順出發、同日新屯着 同地において武装解除 撫順において現地応召者召集解除 停戦により奉天省撫順に移動 同地にて日「ソ」開戦 盤石に移動 成完結 吉林省黄旗屯において機動三連隊から転入の基幹人員と在満応召者をもつて編 軍令陸甲第一〇六号により編成下令													
												摘要	

0210

		昭 20		7		8		8		8		8		9		9	
		10		30		12		14		16		19		30		31	
		日		日		日		日		日		日		日		日	
<p>第一三八師団病馬廠略歴</p> <p>通称号 不動第三七二七六部隊</p>		<p>概要</p> <p>軍令陸甲第一〇六号により編成下令</p> <p>吉林省黄旗屯において機動三連隊から転入の基幹人員と在満応召者をもつて編成完結</p> <p>部隊は黄旗屯出発、奉天省撫順に向う</p> <p>途中南雑木（奉天省）に下車</p> <p>撫順着、停戦</p> <p>現地応召者召集解除</p> <p>武装解除</p> <p>撫順出発新屯（奉天省）に集結</p> <p>奉天に向い新屯出発</p> <p>奉天着</p> <p>黒河經由入「ソ」</p>															
		<p>要</p>															
<p>隊長 獣医中尉 後藤捨夫</p>		<p>摘要</p>															

人 0211

										昭 20	年	月	日	第一四八師団司令部略歴 通称号 富嶽才三七三二部隊		
															略	歴
11	10	10	9	9	9	8	8	8	7							
26	22	15	17	3	2	20	15		5	10						
師団長 中將 末光元広 黒河經由入「ソ」。 新京出発。 将校は新京将校大隊に編入。 黒河經由入「ソ」。 新京出発。 新京才五作業大隊に編入。 新京出発。 新京において武装解除。 爾後新京付近の警備。 停戦。 満応召者をもつて編成完結。 吉林省新京において才七四兵站警備隊および才一〇一警備司令部を基幹とし在																
														摘要		

0212

					昭 20	年 月 日	歩兵第三八三連隊略歴 通称号 富嶽才三七三三部隊				
					7						
9	9	8	8	5	10						
隊長 大佐 鈴木 元親三千					18	1	22	5	10	略 歴	
					黒河經由入「ソ」。	同地において才一作業大隊に編入。	同地において武装解除	爾後新京付近の警備。	結。	吉林省新京において才七四兵站勤務隊の基幹人員と在満応召者をもつて編成完了。 軍令陸甲才一〇六号により編成下令。	摘要

0213

<p style="text-align: center;">歩兵第三八四連隊略歴</p> <p>通称号 富嶽才三七三二四部隊</p>	<p style="text-align: center;">略 歴</p>	<p style="text-align: center;">摘 要</p>
<p style="text-align: right;">昭 20</p>	<p style="text-align: right;">年 月 日</p>	<p style="text-align: right;">8 7 5 10</p>
<p style="text-align: right;">9 9 9 9 9 8</p>	<p style="text-align: right;">19 18 12 8 10 5 20</p>	<p style="text-align: right;">至 自 至 自 至 自</p>
<p>軍令陸甲才一〇六号により編成下令。 吉林省新京において才七四兵站警備隊の基幹人員と在満応召者をもつて編成完結。 爾後新京付近の警備。 新京において武装解除。 同地において才二、才四、作業大隊に編入。 新京出発。 黒河経由入「ソ」。</p> <p style="text-align: right;">隊長 少佐 坂田 英</p>		

0214

至自		昭 20	年	歩 兵 第 三 八 五 連 隊 略 歴	
		8 7	月		
		5 10	日		
9 9 9	9 8	8 7		通称号 富嶽才三七三二五部隊	
30 18 11	10 20	5 10			
<p>軍令陸甲才一〇六号により編成下令。 吉林省新京において才七四兵站警備隊の基幹人員と在満応召者をもつて編成 完結。爾後新京付近の警備。 新京において武装解除。 同地において才三作業大隊に編入その後、新京才一作業大隊及混成才三作業 大隊に編成替。 新京出発。 黒河經由入「ソ」。</p>				略	歴
<p>隊長 少佐 加賀田 作</p>				摘	要

0215

					昭	年 月 日	略 歴	通称号 富嶽才三七三二六部隊	第一四八師団挺進大隊略歴
					20				
					7				
		9	9	8	8	7	軍令陸甲才一〇六号により編成下令。 吉林省新京において才七四兵站警備隊の基幹人員と在満応召者をもつて編成 完結。 爾後新京付近の警備。 新京特別市南嶺において武装解除。 新京において才四、作業大隊に編入。 新京出発。 黒河經由入「ソ」。		
		18	8	5	19	5			
隊長 大尉 蓮田 誠									
					摘要				

0216

					昭 20	年 月 日	野砲兵第一四八連隊略歴	
					8			7
					5			10
					9	9	通称号 富嶽才三七三二七部隊	
					9	2		
					8	20		
					17	3	略 歴	
					軍令陸甲才一〇六号により編成下令。 吉林省新京において才七四兵站警備隊の基幹人員と在満応召者をもつて編成 完結。 爾後新京付近の警備。 同地において武装解除。 新京において才五作業大隊に編入。 新京出發。 黒河經由入「ソ」。			
					隊長 中佐 武田 条彦			
							摘 要	

0217

					昭 20		年 月 日	工兵第一四八連隊略歴	
					8	7			通称号 富嶽才三七三二八部隊
9	9	9	8	8	7	略 歴			
					5	10	軍令陸甲才一〇六号により編成下令。 吉林省新京において才七四兵站警備隊の基幹人員と在満応召者をもつて編成 完結。 爾後新京付近の警備。 新京東光小学校において武装解除。 新京才一三作業大隊に編入。 新京出発。 黒河經由入「ソ」。		
隊長 少佐 横田次郎							摘 要		

0218

昭						年	月	日	略	歴	通称号 富嶽才三七三二九部隊	第一四八師団通信隊略歴
20												
9	9	9	8	8	7							
22	10	5	19	5	10							
<p>軍令陸甲才一〇六号により編成下令。 吉林省新京において才七四兵站警備隊の基幹人員と在満応召者をもつて編成 完結。 爾後新京付近の防衛ならびに通信業務に任じた。 同地において武装解除。 同地において才一三作業大隊に編入。 新京出發。 黒河經由入「ソ」。</p> <p>隊長 少佐 有賀正孝</p>												
										摘	要	

0219

年月日	昭 20 8 7 5 10	自 至 自 至 自
略	<p>軍令陸甲才一〇六号により編成下令。 吉林省新京において才七四兵站警備隊の基幹人員と在満応召者をもつて編成 完結。 爾後同地付近の警備。 主力は吉林省孟家屯、一部は吉林省南嶺において武装解除。 南嶺自動車隊兵舎に移動新京才一四作業大隊に編入その後新京才二、才一三、 作業大隊に編成替。 新京出発。 黒河經由入「ソ」。</p>	<p>隊長 少佐 早川喜三郎</p>
摘要		

輜重兵第一四八連隊略歴

通称号 富嶽才三七三三〇部隊

略歴

摘要

0220

昭和		年月日		略	歴	摘要				
20	7	9	8							
	8	9	9	11	8	1	20	5	10	<p>軍令陸甲才一〇六号により編成下令。</p> <p>吉林省新京において才七四兵站警備隊の基幹人員と在満応召者をもつて編成 完結。</p> <p>爾後新京付近の警備。</p> <p>新京において武装解除。</p> <p>同地において才七作業大隊に編入。</p> <p>新京出発。</p> <p>黒河經由入「ソ」</p>
<p>隊長 大尉 海田官一</p>										

第一四八師団兵器勤務隊略歴

通称号 富獄才三七三三一部隊

略歴

摘要

0221

昭和 20	年月日					略 歴	通称号 富嶽才三七三三二部隊	第一四八師団病馬廠略歴
	7	8	8	9	9			
	10	5	17	1	11			
						<p>軍令陸甲才一〇六号により編成下令。 吉林省新京において才七四兵站警備隊の基幹人員と在満応召者をもつて編成 完結。 新京において武装解除。 同地において才七作業大隊に編入。 黒河経由入「ソ」。</p>		
						<p>廠長 獸中尉 細川 甚六</p>		
						摘 要		

0222

昭 20														昭 19			
7	5	5	5	5	4	3	2	12	9	8	4	4	3	2	2	2	4
—	下	下	中	1			28	1		頃	7	5	31	28	23	20	25
15	旬	旬	旬														
通化出発	通化省通化着、同日より同地付近の警備	満支国境通過	上海出発、南京、徐州、開封、石門、北京經由	上海着、同日より教育演習ならびに警備	南京出発	南京着	柳州出発	柳州攻略同地付近の警備	衡陽攻略	桂林攻略	武昌発丘州、長沙、衡州、永州、全州經由	武昌着	作戦開始のため南京出発	南京着	満支国境山海関通過	昌桂作戦参加のため富拉爾基出発	富拉爾基着。同日より同地付近の警備

	7	8	8	9	10
	18	9	15	19	下旬
奉天(第二中学校)着					
第三方面軍司令官の隷下に入り築城指導ならびに警備					
日「ソ」開戦、奉天防衛のため陣地構築					
停戦					
同地において武装解除					
以降奉天出發					
黒河より入「ソ」					
司令官					
初代少将 谷田 勇					
二代少将 平野 省三					

十五の夕

0225

		昭										昭	年	独立工兵第四〇連隊第二中隊略歴 通称号 敏才一四八六部隊				
		至自至自										19	月					
		20										19	日					
		9	9	8		8	8	8	6	11	11	7	6	4	3	2	略	歴
		10	5	20		12	8	2	30	4	3	13	0	8	15	15		
新京出発。		<p>軍令陸甲才一一号により編成下令。 天津において近衛工兵才二連隊を基幹として編成完結。 京漢作戦に参加、黄河渡河並に交通作業に従事。 洛陽付近の警備ならびに交通作業に従事。 才一二軍司令官の指揮下において鄭州付近の警備ならびに「ウ」号作戦に参加。 南陽付近の交通作業に従事。 満洲転進のため衡陽出発。 鄭州出発。 満支国境（山海関）通過。 新京着。 才三〇軍直轄として工兵才一四八連隊長の指揮下に入る。 新京において武装解除。 作業才一三大隊に編入。 新京出発。</p>																
																	摘	要

0226

	9
	22
	黒河経由入「ソ」。
隊長 中尉 生駒 啓三	

重砲兵第一連隊略歴												
通称号 敏第九七〇三部隊												
年月日												
昭 15	7	8	8	7	15	10	23	17	25	15	10	7
自 昭 16	5	5	8	8	7	15	10	23	17	25	15	7
至	5	5	8	8	7	15	10	23	17	25	15	7
自	4	5	8	8	7	15	10	23	17	25	15	7
至	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
自	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
至	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
自	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
至	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
<p>動一六令第六〇号により編成下令 下関重砲連隊において編成完結 下関港出帆 南支広東省宝安県南頭上陸。爾後同地付近の警備 東江作戦参加 英支国境遮断並に宝深地域の警備 香港攻略戦参加 占領地九竜付近の警備 英領九龍出発 「ルソン」島「リンガエン」湾「ダモルテス」上陸</p>												
概要											摘要	

0228

昭 19	昭 19	昭 19	昭 19	昭 19	昭 19	昭 19	昭 19	昭 19	昭 19	昭 19	昭 19	昭 19	昭 19	昭 19	昭 19
9	8	7	5	7	7	6	6	6	5	5	4	4	3	3	2
20	1	31	3	4	1	30	17	16	8	7	12	11	28	22	15
<p>「マニラ」湾口島嶼要塞砲撃戦参加</p> <p>「バタン」攻略戦参加</p> <p>「コレヒドール」島攻略戦参加</p> <p>占領地「マニラ」付近の警備</p> <p>比島「マニラ」港出発</p> <p>大連上陸</p> <p>大連出発同日関東州界通過</p> <p>北安省北安着。爾後同地付近の警備</p> <p>一部さ号演習に参加のため北安出発。同日黒河省孫河着。第一師団築城工事作業の援助</p> <p>原隊復帰のため孫河出発</p> <p>北安着、同日より北安付近の警備</p> <p>一部「ソ」満国境付近における陣地構築作業のため北安出発。同日孫河着、同地において陣地構築</p>															

00005

至 自				至 自				
				昭 20				
	10	9	9	8	8	5	4	11
	上旬	中旬	13	20	15	11	18	1
			黒河経由入「ソ」	北安において各作業大隊に編入	北安において武装解除	停戦	一部孫呉県下陣地構築作業に参加	孫呉出發、同日北安着 爾後同地付近の警備
隊長	初代	大佐	早川法良					
二代	大佐	白木良三						

0230

									昭	年 月 日	重砲兵第一九連隊略歴 通称号 敏第一三八二〇部隊	
									20			
10	9	9	8	8	8	8	8	7	5			10
<p>軍令陸甲第一〇六号により編成下令 吉林省公主嶺において戦車第三五連隊の基幹人員と現地応召者をもつて編成完 結 公主嶺より四平に転進 四平省四平着 四平省揚木林において現地応召者のみ約七〇〇名召集解除 四平において武装解除 同地において第四作業大隊に編入 四平出発 黒河經由入「ソ」</p>											概	要
連隊長 少佐 神田達志											摘要	

0231

昭 20		自 至										昭 16	
8 12		8 27	8 25	8 23	8 17	8 10	7 23	7 20	7 19	7 16	7 8		
<p>移駐し同地付近の防衛に任じた。</p> <p>一部を阿城に残置し主力は軍隊区分による阿城臨時砲兵隊に編入して哈爾濱に</p> <p>を通過に残置し他は阿城に復讐した</p> <p>大隊は通化移駐のため一部を同地に出発させたが日「ソ」開戦により、若干名</p> <p>濱江省阿城着、爾後同地付近の警備</p> <p>鮮満国境図門通過同日第三軍司令官の隷下に入る。</p> <p>移駐のため馬山出發鮮満国境安東通過</p> <p>同地において馬山重砲連隊の人員を基幹として編成完結</p> <p>朝鮮馬山着</p> <p>大阪港出帆</p> <p>舞鶴出發</p> <p>舞鶴において仮編成</p> <p>編成下令</p>													
		<p>概要</p>											
												<p>摘要</p>	

独立重砲兵第七大隊 略歴

通称号 敏第二〇〇〇部隊

十七の外

昭		昭					年月日	独立重砲兵第二一大隊略歴 通称号 敏第三七八一部隊
21		20						
17頃		8	8	8	8	7	概要	
17頃		22	17	12	5	10		
隊長 少佐 滝井 暎		<p>黒河經由入「ソ」に編入</p> <p>幹部および現役兵は四平において武装解除その後将校大隊および作業第二大隊</p> <p>す</p> <p>四平において第三九師団長の命により大、中隊長および現役兵を除き全員解散</p> <p>公主嶺出發、四平省四平に向う</p> <p>結</p> <p>吉林省公主嶺において戦車第三五連隊の基幹人員と在満応召者をもつて編成完</p> <p>軍令陸甲第一〇六号により編成下令</p>					概要	
								摘要

0234

		昭 20					年 月 日	独立臼砲第二七大隊略歴
		9	8	8	8	7		
		自 9 下旬	8 18	8 15	8 5	7 10	通称号 敏第三七八一三部隊	
		至 11 上旬						
		隊長 大尉 石塚雄二 黒河経由入「ソ」 奉天において作業大隊に編入 在満応召者召集解除 奉天において武装解除 停戦 結。爾後同地付近の警備					概要	要
								摘要

0235

						昭 20	年 月 日	独立自動車第一一六大隊略歴 通称号 敏第三七八一三部隊
						7		
11	9	8	8	8	7			
						10		
						5		
						15		
						20		
						22		
<p>隊長 大尉 奥山常盤</p> <p>奉天省奉天において幹部以下全員在満応召者をもつて編成完結。爾後同地付近の警備ならびに輸送業務 停戦と同時に部隊の約半数を召集解除 同地において武装解除 奉天において第五一、第五二作業大隊に編入 黒河經由入「ソ」</p> <p>軍令陸甲第一〇六号により編成下令</p>								
概要								
摘要								
摘要								

0236

昭 19		至 自		至 昭		自 昭						昭 16		年月日	独立輜重兵第五三大隊略歴
7	4	11	5	8	3	11	8	8	8	8	8	7	7		
1	1	10	5	29	10	3	30	25	17	10	3	21	7	通称号 敏第三七五九部隊	
<p>主力は西東安に移駐</p> <p>第一、第二、第三中隊を虎林に派遣</p> <p>東安省密山において輸送業務に従事</p> <p>東安省安達において輸送業務に従事</p> <p>東安に移駐</p> <p>東安省西東安着、爾後同地付近の警備</p> <p>関東州界通過</p> <p>大連上陸</p> <p>満州東安に移駐のため宇品港出帆</p> <p>名古屋出発</p> <p>名古屋において第三師団隷下部隊の転入者を基幹として編成完結</p> <p>特臨編一六令付第一〇七一三号により編成下令</p>														概要	要
														摘要	

十ナク

0237

											昭		
											20		
											6		
											6		
											5		
			9	9	9	8	8	8	8	7	6	6	6
			21	9	2	28	20	18	15	2	9	5	5
			黒河經由入「ソ」	吉林出発	吉林第二〇一作業大隊に編入	通化発	通化省通化着、同日武装解除	柳河発	停戦	虎林派遣隊は通化に移駐し、主力に合流	通化省通化到着	主力は移駐のため西東安出発	第四中隊を通化省柳河に派遣
隊長	少佐	竹中	蘭	平									

0238

昭 19						昭 16				年月日	通 陸上勤務第八八中隊 略歴 通称号 敏第四〇一七部隊
6 中旬	6	6	1	1	12	8	8	8	7		
	14	10	5	3	10	19	17	1	16	概	要
残余の杜荒子派遣隊は琿春の主力と合流	通化省通化着、同地付近の警備	杜荒子派遣の一部は同地出発	間島省杜荒子着	一部を杜荒子警備のため派遣	関作命甲第一九二号により関東軍司令官の隷下に入る。	鮮満国境訓戒通過、同日間島省琿春着	宇品港出帆	大阪において編成完結	特臨編一六令付第一〇二号により編成下令	要	

0239

		自			至			自			至		
		9	9	9	8	8	8	8	7	7	7	7	7
		20	9	1	22	20	15	1	15	30	11		
		黒河經由入「ソ」			吉林出発			同地において武装解除同日出発			停戦		
		吉林出発			吉林省吉林着同地において作業第二〇一大隊に編入			通化着			主力は通化移駐のため琿春出発		
隊長	大尉	山本一雄											

		10	9
		17	14
		黒河經由入「ソ」	同地において作業大隊編入
隊長			
中尉			
伊藤			
一			

昭 19												年 月 日									
昭 20												11	6								
8	8	8	8	8	8	8	8	7	5	5	30	25	23	20	15	18	15	12	23	31	1
<p>東満部隊より派遣の人員をもつて軍隊区分により新京において臨時建築勤務第二中隊を編成。中隊は三ヶ小隊編成、主として関東軍秘密工事に従事</p> <p>軍令陸甲第七五号により編成下令</p> <p>臨時建築勤務第二中隊の人員を基幹として編成完結。爾後同地付近において建築勤務に従事</p> <p>第二小隊を四平省昌図に派遣し兵舎の修理作業に従事</p> <p>移駐のため主力は新京出発</p> <p>停戦</p> <p>通化省通化着</p> <p>昌図派遣隊は同地出発朝鮮に向う途中通化において中隊主力と合流</p> <p>鮮満国境通過</p> <p>朝鮮京畿道龍山着。同地停車場司令部に連絡の結果鎮南浦に反転</p> <p>鎮南浦において武装解除同日応召者四〇名乃至五〇名召集解除</p> <p>鎮南浦出発</p>												<p>建築勤務第八二中隊（臨時建築勤務第二中隊）略歴</p> <p>通称号 敏第一四〇四〇部隊 徳第一三九〇二部隊</p>		概要	摘要						

0243

61502

	昭
	21
	6 9
	2
隊長 中尉 石黒 緑	平塚三合里着 同地編成の作業大隊に分離編入され興南經由入「ソ」

0244

昭													昭	年 月 日	概 要	摘 要
19				18				17				16				
4	4	4	6	5	1	1	8	8	8	8	8	8	8			
28	21	20	3	20	11	7	28	27	24	23	20	4	10			
移駐のため林口出発、同日鶏寧着 鶏寧県境通過、同日東安省林口着 移駐のため虎林出発 虎林着、爾後同地付近の道路作業に従事 大連出発 関東州界通過、同日大連着、爾後同地付近の道路作業に従事 南方作戦参加のため虎林出発。同日東安省密山県境通過 東安省虎林着。爾後同地付近の警備 東安省密山県境通過 大連出発同日関東州界通過 大連上陸 門司港出帆 久留米において工兵第五六連隊よりの要員を基幹として編成完結 特臨編一六令付第一一四号により編成下令																

第四二野戦道路隊略歴

通称号 敏第九七五〇部隊

二十一の外

0245

昭									
20									
10	9	9	8	8	8	9	8	8	
5	16	8	17	15	14	19	14	11	
	黒河經由入「ソ」	奉天出発	同地において作業大隊に編入	同地において武装解除	停戦	主力は奉天に移動	鞍山着、同日遼陽着	奉天省鞍山着	移駐のため鶏寧出発
隊長	大尉	大西	馨						

二十一〇九

昭		昭		年月日	特設警備第六〇一大隊略歴
20		19			
8	8	2	1		
23	15	13	4		通称号 敏第三一六六部隊
<p>昭20年8月8日</p> <p>昭19年2月1日</p>		<p>昭19年12月13日</p> <p>昭19年1月4日</p>		概	要
<p>昭20年8月23日</p> <p>昭19年8月15日</p>		<p>昭19年12月13日</p> <p>昭19年1月4日</p>		要	
<p>隊長代理 少尉 箭内 二師雄</p>		<p>軍令陸甲第一号により編成下令</p> <p>吉林省新京において編成完結（常置員將校一名、下士官四名）</p> <p>爾後同地付近の在郷軍人を短期間数度にわたり教育召集。日「ソ」開戦後も</p> <p>防衛召集実施せず</p> <p>停戦</p> <p>新京において部隊解散</p>		摘要	

0247

		昭 19		年 月 日	概 要	摘 要
		8	8			
		23	15	10	8	
<p>隊長代理 少尉 山内高一</p>		<p>軍令陸甲第一二八号により編成下令 吉林省新京において編成完結（常置員将校一名、下士官五名） 爾後同地付近の在郷軍人を短期間数度にわたり教育召集 日「ソ」開戦後の召集は実施せず 停戦 新京において特設警備第六〇一大隊と共に部隊解散</p>				
		<p>第六〇一特設警備工兵隊略歴</p> <p>通称号 敏第三一五三部隊</p>				

0249

至自			
10	10	9	8
30	23	24	20
四十四軍司令官 関東防衛軍司令官		奉天にて武装解除 奉天にて第二作業大隊に編入 同日奉天出發 黒河経由入「ソ」	
中	中		
将	将		
本	山		
郷	下		
義	奉		
夫	文		

0251